

夏のおいしい
レシピ

オクラと豚バラの ペペロンチーノ *Summer cooking*

材料 (一人分)	パスタ	100g	赤唐辛子	適量
	豚バラ肉	150g	オリーブオイル	大さじ1
	オクラ	6本	塩	小さじ1/2
	大葉	5枚	酒	大さじ1
	ニンニク	2片		

作り方

- ①ニンニクを薄めにスライスして、赤唐辛子を輪切りにしておく。
- ②フライパンを用意し、オリーブオイルでいい香りがするまで炒める。
- ③食べやすい大きさに切った豚バラ肉とオクラを入れ、塩と酒で味をつける。
- ④炒めた具を一度、お皿に出しておく。
- ⑤鍋を用意し、パスタを茹でる
- ⑥茹で上がったら、フライパンに移し、具とパスタを和える。
- ⑦盛りつけて、ちぎった大葉を置き、オリーブオイルをかけて完成。



2022年度 診療統計表 4月～6月	外来患者数	19965
	入院患者数	347
	退院患者数	333
	1日平均外来患者数	270
	緊急搬入数	258
	紹介患者数	498
	手術件数・全身麻酔	114
硬膜外・脊髄麻酔	0	

編集後記

野球小僧だった私、競技人口ではサッカーに毎年差をつけられている昨今、携帯・PCでのゲーム人口では差をつけているとの事、ちょっと嬉しい。

広報委員会

委員長：藤田 裕介 笹森/山田/小野/遠木/森屋/塩沢/岩間/
編集校正：山中 裕己 小林(那)/坂本/伊藤/武井/渡邊

病院概要

診療科目

内科/外科/消化器内科/消化器外科/呼吸器内科/整形外科/脳神経内科/脳神経外科/小児科/眼科/耳鼻科/皮膚科/麻酔科/リハビリテーション科/放射線科/血液浄化センター(人工透析)

設備

マルチスライスCT装置/マンモグラフィ/MRI装置/超音波装置/骨密度測定装置/内視鏡/外科用イメージ/連続血管造影装置/総合リハビリテーション施設

病床数

総病床数:150床(一人当たり8m)/血液浄化センター:20床



Access 石和温泉駅より 徒歩で20分/車で5分



CHECK! FAST (Face Arm Speech Time)

- Face** : 顔の麻痺
 - Arm** : 腕の麻痺
 - Speech** : ことばの障害
- 上記が一つでも出ていれば脳卒中の可能性大!
- Time** : 発症時刻を確認して! すぐに救急車を呼びましょう!



(脳)神経内科で扱う疾患

(脳)神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科で、100種類を越えるとも多くの神経疾患を診療します。脳卒中については近年治療法が進歩し、発症して間もない場合は専門医療機関での速やかな治療により予後が劇的に改善する可能性が高いことが明らかになっています。突然「しゃべれない・手足が動かない・顔が歪んだ・これまでに経験したことがない頭痛」などの症状が生じた場合は躊躇せずに救急要請し適切な治療が可能な医療機関に搬送してもらいましょう。急性期脳卒中以外にも(脳)神経内科の扱う疾患は多く「パーキンソン病・脊髄小脳変性症・痙性対麻痺・多発硬化症・慢性炎症性多発神経(根)炎」など様々な「神経難病」があります。以前は治療ができなかった病気も現在では多くの治療法が開発されています。次のページに載っている症状が出現した場合は(脳)神経内科の受診をご検討ください。

神経内科専門医の紹介

神経内科/院長代理
瀧山 嘉久 (たきやま よしひさ)

認定医・専門医・所属学会

- 山梨大学名誉教授 医学博士
- 山梨医学会会長
- 日本神経学会神経内科専門医・指導医
- 日本内科学会認定内科医

神経内科
新田 清明 (にった きよあき)

認定医・専門医・所属学会

- 日本神経学会神経内科専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本自律神経学会 評議員
- 日本神経病理学会
- 日本神経感染症学会
- 日本リハビリテーション医学会

神経内科
佐竹 紅音 (さたけ あかね)

認定医・専門医・所属学会

- 日本内科学会認定内科医
- 日本神経学会神経内科専門医
- 日本てんかん学会



(脳) 神経内科疾患の症状

以下の様な症状が生じた場合は(脳) 神経内科領域の疾患である可能性が高いと思われます。

- 意識がない
- 物忘れがある(認知症専門医の診療を願います)
- 特定の動作ができない
- ものが二重に見える
- 眼が開きにくい
- 顔が動かない
- うまくしゃべれない
- うまく飲み込めない
- 腕、手、指、足、足趾が動かない
- 姿勢が保てない
- 動作が遅くなった
- 手足や体が勝手に動く
- うまく歩けない
- 感覚が鈍い
- しびれや痛みがある
- めまいがある
- 立ちくらみがある
- 排尿や排便のコントロールができない
- 頭痛を生じる(脳神経外科専門医、頭痛専門医に診療を願います)
- 痙攣を生じる(脳神経外科専門医、精神神経科専門医に診療を願います)
- 眠れない(心療内科、精神神経科、睡眠専門医に診療を願います)



(脳) 神経内科と精神科・心療内科の違い

精神科は、統合失調症や気分の変化(うつ病や躁病)、精神的な問題を扱う科です。

また心療内科は精神的な問題がもとで体に異常をきたしたような病気を扱う科です。

一方で(脳) 神経内科はこれらの科と異なり、精神的な問題からではなく脳や脊髄、神経、筋肉に病気があって体が不自由になる病気を扱います。(脳) 神経内科では症状が脳や脊髄、神経、筋肉の病気に由来しているかどうかを診断し、(脳) 神経内科以外の治療や検査が必要な病気の場合は、適切な科にご紹介します。

(脳) 神経内科のかかり方

発症 24 時間以内の急性神経症状の場合は緊急要請をしてください。発症 24 時間以上経過している神経症状がある場合は(脳) 神経内科疾患の可能性が高いと推測されます。すでに他の診療科で治療を受けている方は医師にご相談いただき、紹介状(診療情報提供書)を作成してもらって当院を受診されることをお勧めします。(重複した検査などが減り、より円滑な診断・治療が可能となります。)



? マイナンバーとは…

マイナンバー制度とは、住民票を持つすべての国民に1人1つのマイナンバー(個人番号)が与えられる制度です。

マイナンバーが使われるのは主に「社会保障」「税金」「災害対策」の3つに関連するときです。マイナンバーがあれば、これまで複数の機関に存在していた個人の情報を、同一人物の情報だと即座に確認することができるようになります。



この内の社会保障の分野で医療機関でもマイナンバーを使用することができます。医療機関でマイナンバーを使うメリットとしては下記のような項目など多くのメリットがあります。

マイナンバー使用のメリット

- 本人同意のもと、初めての医療機関でも薬剤情報等を共有できるため、より良い医療の提供が可能になります。
- カードリーダーで顔写真を確認すれば、スムーズに医療保険の資格確認ができ、医療機関や薬局の受け付けにおける事務処理の効率化が期待できます。
- 就職や転職、引越をしても、マイナンバーカードを健康保険証としてずっと使うことができます。

使い方は、専用カードリーダーにマイナンバーカードをセットして暗証番号または顔認証で本人確認を行い、薬剤情報と特定健診情報の閲覧に同意すると使用できるようになります。

当院でもマイナンバーを導入開始したのでぜひご使用ください。

✉ 投書回答書：TVカード

2022年5月20日に
1階ロビー“TVカード機”
設置させて頂きました。

令和4年3月29日(火) 1階入口のご意見箱より

コロナ禍で面会制限となり直接入院中の本人へお金(TVカード代金)や荷物の受け渡しが出来ない中、お金の受け渡しやTVカードの購入を病棟スタッフに任せざるを得ない状況です。金銭トラブルがあった場合「病棟では自己責任なので責任を負えない」と言われても家族・本人は泣き寝入りするしかない状況です。トラブルを避けたいのはお互い様です。直接、金銭をやりとりをしなければならぬことがトラブルの元になるので、TVカードを家族が購入しお預けの方が安全であると思います。

しかし、現在、1階ロビー、売店ではTVカードの購入が出来ません。

1階にTVカードの発売機の設置もしくは売店での販売を望みます。それが難しいのであれば入院時の預り金と共に一定の金額をお預けしTVカード代その他にかかる費用を差し引くなどの方法を検討してください。

病棟でお金の管理が出来ないのであれば金銭のやり取りを避ける方法の提案をお願いします。

ご回答

この度は、TVカードの購入について大変ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。ご意見を検討させていただき、新たにTVカード販売機を1階正面ロビーに設置いたしました。入院される患者さんやご家族の方が快適にご利用できるよう引き続き努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。